

2025年9月18日

報道関係各位

GMO サイバーセキュリティ by イエラ工株式会社

「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」に新機能追加 WAF 製品を自動で判別・タグ付け表示

〜組織の効率的な IT 資産管理と的確な対応優先度付け(脆弱性トリアージ)に貢献〜

GMO インターネットグループでサイバー攻撃対策事業を展開する GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社(代表取締役 CEO: 牧田 誠 以下、GMO サイバーセキュリティ by イエラエ)は、2025 年9月 18日(水)、ホワイトハッカーのノウハウを詰め込んだアタックサーフェスマネジメント (Attack Surface Management、以下 ASM $^{(*1)}$)ツール「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」に、新たにWAF(Web Application Firewall $^{(*2)}$)の自動判別・タグ付け表示機能を実装しました。

本新機能により、ユーザーが利用している WAF 製品を自動的に判別し、管理画面上でタグを付与して表示します。国内外 167 種類の WAF 製品に対応しており、これにより IT の効率的な資産管理と、脆弱性トリアージ(※3)による的確な優先順位付けが可能となります。



- (※1) IT 資産の脆弱性やリスクを継続的に検出・評価する取り組みのこと。
- (※2) Web アプリケーションの既知の脆弱性を悪用した攻撃から Web サイトを保護するセキュリティシステムのこと。
- (※3) 脆弱性対応の優先順位や緊急度を判断する一連の評価と選択のこと。元々は医療の現場で使われる言葉で、事故現場などで多数の負傷者を評価し、治療の優先順位を決定することを意味する。

【新機能の概要】

今回の新機能では、ユーザーが利用している WAF を自動で判別するとともに、管理画面上でドメインのシステム構成として「WAF」というタグを表示します。これによりユーザーは利用中の WAF や、過去に導入されたまま放置している WAF がないかを把握し、IT 資産として適切に管理することができます。

さらに脆弱性トリアージの観点では、WAF を利用していない場合には新規導入を検討する、WAF の種類から IT 環境に合わせた製品への入れ替えを検討するなどのセキュリティ対策計画作りとしても役立ちます。



■対応製品一覧(一部)

- BIG-IP Local Traffic Manager (F5 Networks)
- FortiWeb / FortiGate (Fortinet)
- Cloudflare (Cloudflare Inc.)
- AWS ELB / CloudFront WAF (Amazon Web Services)
- Azure Application Gateway / Front Door (Microsoft)
- Imperva (SecureSphere / Incapsula) (Imperva Inc.)
- ModSecurity (Spider Labs)
- Palo Alto Next Gen Firewall (Palo Alto Networks)
- Barracuda (Barracuda Networks)
- Kona Site Defender (Akamai)
- SiteLock / Sucuri (TrueShield / Sucuri Inc.)
- Fastly (Fastly CDN)
- IBM DataPower / WebSEAL (IBM)
- Cloudbric (Penta Security)
- Kemp LoadMaster (Progress Software)
- nevisProxy (AdNovum)
- Wallarm (Wallarm Inc.)
- BitNinja / NinjaFirewall (BitNinja / NinTechNet)
- Reblaze / WebARX / Shieldon
- SiteGuard (EG Secure Solutions)
- Penta WAF (Global Network Services)

上記以外の WAF 製品の対応状況のご確認はお問い合わせフォームより承ります。

お問い合わせ: https://product.gmo-cybersecurity.com/contact/asm/

【「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」について】

(https://product.gmo-cybersecurity.com/net-de-shindan/lp_enterprise/)

「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」は、簡単かつ直感的に使用が可能な国産 ASM ツールです。 お客様の社名やサービス情報、IP アドレスをもとに、攻撃対象となる可能性がある Web サイトやネットワーク機器を特定し、定期的なセキュリティ診断を実施します。これにより、自社 IT 資産の棚卸とリスクの可視化を行うことができます。

【GMO サイバーセキュリティ by イエラエについて】

(https://gmo-cybersecurity.com/)

GMO サイバーセキュリティ by イエラエは、国内最大規模のホワイトハッカーで組織されたサイバーセキュリティのプロフェッショナルカンパニーです。会社理念である「人を助ける信念を守るチカラに変えていく」ために今後も最先端の技術と実践的な教育を通じて、日本のサイバーセキュリティの強化に貢献していきます。また、「世界一のホワイトハッカーの技術力を身近に」を目指して、各種脆弱性診断、ペネトレーションテスト、セキュリティコンサルタント、SOC サービス、フォレンジック調査まで包括的にサイバーセキュリティ対策サービスをご提供します。

以上

【報道関係お問い合わせ先】

●GMO サイバーセキュリティ by イエラ工株式会社 マーケティング部 広報担当 伊礼

TEL: 03-6276-6045

E-mail: pr@gmo-cybersecurity.com

●GMO インターネットグループ株式会社 グループ広報部 PR チーム 田部井

TEL: 03-5456-2695

お問い合わせ: https://group.gmo/contact/press-inquiries/

【GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社】(URL: https://gmo-cybersecurity.com/)

会	社	名	GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社
所	在	地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代	表	者	代表取締役 CEO 牧田 誠
事	業 内	容	■Web アプリ及びスマホアプリ脆弱性診断 ■ペネトレーションテスト
			■不正利用(チート)診断 ■ IoT 脆弱性診断 ■自動車脆弱性診断
			■フォレンジック調査 ■CSIRT 支援 ■クラウドセキュリティ診断
			■クラウドセキュリティ・アドバイザリー
資	本	金	1 億円

【GMO インターネットグループ株式会社】(URL: https://group.gmo/)

	会	社	名	GMO インターネットグループ株式会社 (東証プライム市場 証券コード:9449)
	所	在	地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
ſ	代	表	者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿

 資 本 金	暗号資産事業 50 億円
	インターネット金融事業
	インターネット広告・メディア事業
	インターネットセキュリティ事業
	インターネットインフラ事業
	■グループの事業内容
事業内容	持株会社(グループ経営機能)

Copyright (C) 2025 GMO Cybersecurity by Ierae, Inc. All Rights Reserved.